

福島コンピューターシステム 株式会社 様

会社概要

事業内容 ソフトウェアの開発及び保守

所在地 福島県郡山市大槻町

当社の働き方改革の主な取組

「ソフトウェアの開発は、人材が全て（資産）」という企業理念を基に、従業員に対して、いかに働きやすい環境を提供出来るか、企業全体で働き方改革を進めています。

○ 時間外労働の削減

職員全体の勤怠時間をリアルタイムで把握できるシステムを導入。一定の時間に近づくと、黄色や赤色の文字でアラートが表記されるなど、職員の意識付け改革を実施。2015年に18.8時間だった時間外労働時間が、2022年には12.4時間まで縮減。

○ テレワークの推進

職場と同じ環境で仕事ができるよう、システム環境の整備を行ったほか、在宅勤務手当など各種手当を整備、バーチャルオフィス「ZAWAZAWA(ザワザワ)」の開発など、職員の絆を大切にしつつ、勤務環境も整備。現在の在宅勤務率は50%を達成。

○ 職場環境の見直し

在宅勤務の増加に伴い、令和5年6月に職場環境を一新。社内フリーアドレスのほか、リラクゼーションルームの設置、Microsoft Base Fukushimaによるデジタル変革（DX）の推進拠点を設置。

○ 従業員のモチベーション向上及び意識改革

育児休暇制度の充実や半年ごとのアンケートの実施など、職員の勤務状況や意向に沿った制度を構築することで、従業員のモチベーションを維持向上し、年間離職率は1.9%となった。

意見交換の様子

(左上から、取締役管理本部長の関根様、総務部長の双里様、総務課長の夏井様。福島労働局の田沼労働基準部長)



コロナ拡大の影響もあり、在宅勤務が一気に加速。この機に、社内を大きく改修し、社内フリーアドレスのほか、リラクゼーションスペースの設置など、就労環境を大きく見直しました。

